



サマースクール



7月27日(月)～7月31日(金)の5日間で”サマースクール”を実施致しました。

毎日、日帰りで様々なプログラムを行いましたが、今年度はスイミング短期教室とコラボ企画を行い、38名の子どもたちの参加となりYMCAが学校のように活気あふれていました。5日間共通して、午前中は短期水泳教室に参加し、水泳後は、教室で夏休みの宿題とプログラムをすすめていきました。

水泳後のプログラム初日は、手作りおもちゃやステンドグラス風工作を作りました。

子どもたちは、”物を創る”となるととても嬉しそうで興味津々で取り組んでいました。ステンドグラス風の工作は、「どんな絵にしようか」「何色塗ろうか」と悩み、試行錯誤しながら作りました。2日目は、アイスクリームとみたらし団子を作りました。みたらし団子は、粉をみんなでこねるところから始め、丸めて団子にし、湯通しして、みたらしのあんを作って食べました。3日目は、昼食に「オムライス」と「ピザ」を作って食べました。本来は、お弁当つきですがこの日のみ、自分たちで食材を切ったり、ピザ生地を作ってトッピングして、オーブンで焼いて食べました。日々、家族の方にご飯を作ってもらえることへの感謝の気持ちを持ちながら調理しました。4日目は、オープン粘土工作をしました。子ども達はそれぞれの創造性を膨らませ、キーホルダーやオブジェと個性あふれるものを創り上げていました。最終日は、奈良の名物「柿の葉寿司」の手作り体験に行き、自分たちの手で柿の葉寿司を作り持ち帰りました。どんな食材を使っているのかなどの説明を聞き、手順を追って一つ一つ丁寧に子どもたちは作っていました。箱詰めまで行うので、お店で売っても良いくらいの出来上がりとなりました。「家族のみんなと一緒に食べる!」「自分で食べる!」といろんな意見がありましたが、後日、保護者の方より、「おいしかったです」という感想をお伺いすることができました。

5日間の活動を通して子どもたちは、協力すること・感謝する気持ち・思いやりなど学んでくれたことと思います。これからも、子供たちの自主性や創造性を育めるプログラムの実施に取り組んでいきたいと思っています。

ご参加くださいました皆さま、ありがとうございました。





奈良 YMCA・神戸 YMCA 合同サッカーキャンプ

7月30日(木)～31日(金) アスパ五色天然芝グラウンド

兵庫県淡路島にあるアスパ五色天然芝グラウンドにて、奈良 YMCA と神戸 YMCA の初の合同サッカーキャンプを実施しました。

猛暑の中でしたが、テントなどで熱中症対策も充分に行い、2日間無事に終える事が出来ました。また、天然芝は普段サッカークラスをしている土のグラウンドや人工芝グラウンドとは違い、太陽の照り返しや地面の暑さありません。素晴らしい環境の中で実施することが出来ました。

このキャンプでは奈良 YMCA・神戸 YMCA 総勢 40 名のお友だちが参加してくれました。

初日の夜は、奈良 YMCA・神戸 YMCA 合同の「キャンプファイヤー」を実施しました。奈良 YMCA のリーダーがする、「声出し」と「サッカー選手狩りゲーム」、神戸 YMCA のリーダーがする「手裏剣ゲーム」にお友だちはとても楽しんでいました。最後は全員で「キャンプだホイ！」のキャンプソングを歌いました。全員で1つの火を囲んで行うキャンプファイヤーはとても新鮮で楽しかったです。

最終日は、「奈良 YMCA・神戸 YMCA 合同 YMCA カップ」を実施しました。4 チームに分かれ、総当たりのリーグ戦を行いました。点の取り合いの試合ばかりで、白熱していました。点を取ったときはハイタッチをしながら、チーム全体で喜び合っていました。

初めて他の YMCA とサッカーキャンプを実施し、みんな笑顔に溢れ、「またみんなでサッカーをしたい！」という声が多くありました。同じ志を持つ YMCA 同士、共にサッカーキャンプを行うことで、お友だち同士のつながりはもちろんのこと、指導者同士も横のつながりを持ち、指導者としての佇まいなど、学ぶことが多くありました。次年度も継続して計画していきます。

よしなが としひろ
体育野外事業部 課長 吉永 俊弘



2026 年度奈良 YMCA 定期会員総会・講演会

2026 年 7 月 12 日 (日)、奈良商工会議所にて「2026 年度奈良 YMCA 定期会員総会・講演会」を開催いたしました。当日は、第 1 部として奈良 YMCA チャプレン・日本基督教団奈良教会 平松麻那牧師に、2026 年度奈良 YMCA 基本聖句「何事にも愛をもっておこないなさい」より「愛をもって」というテーマでメッセージをいただきました。

第 2 部、定期会員総会では、奈良 YMCA の新会長として鍋島 祥男さん、副会長として佐藤公一さん、また新常議員として北林秀一さんが就任し、皆さまに紹介しました。また、2025 年度の奈良 YMCA の活動報告として新設クラスの紹介、事業の紹介、国際交流、地域事業などもりだくさんの内容をスライドショーで皆さまに報告いたしました。

その後、奈良 YMCA を長年支えていただいた北林秀彦氏、水田典男氏の追悼の時を持ちました。お二人の奈良 YMCA での活動を振り返りながら、皆で偲ぶ時となりました。

第 3 部は All HEROs 合同会社代表社員 /IPU 環太平洋大学特命教授 / 元岡山大学教育推進機構准教授の中山芳一さんを講師としてお招き、「数値化できない非認知能力が子どもを伸ばす」というテーマでお話をいただきました。私たち、子どもたちのかかわり方など指導者として、とても有益な話をいただき、今後の指導や声掛けに参考させていただきます。当日、ご参加、ご来場いただきました皆さま、ありがとうございました。

体育野外事業部
スイミングスクール部長 村上 一志

むらかみ かずし
村上 一志



保育園だより

西大寺南保育園 副主任 しまぎ 嶋崎 あゆみ



YMCA 西大寺南保育園は小規模保育園で、お家にいるような雰囲気づくりを大切にし、安心して子どもたちが楽しむことができる様な環境の工夫も行いながら、21 名の子どもたちが元気に過ごしています。

今年の 2 歳児は昨年の冬から育ててきたスナップエンドウを春に収穫して給食にみんなで食べました。野菜を育てて収穫する喜びを感じた子どもたち。この夏はズッキーニとキュウリ育てに挑戦！！毎日、みんなで水やりを楽しみ、どんどん葉が大きくなり花が咲き、実が出来ていく様子を毎日ワクワクしながら観察しました。大切に育てている野菜は、色々な味付けをしてもらい、何度も食べる事が出来ました。自分たちで育てて収穫した野菜の味は格別の様で、普段、野菜が得意でない子どもたちも食べる姿が見られました。

何気なく食べている野菜も自分たちで育てると、子どもたちの気持ちにも大きな変化がみられ、食育の大切さが感じられる一場面でした。秋には芋ほりも予定しています。保育園でしか出来ない体験や経験を沢山味わい、『心の根っこ』をしっかりと伸ばして行ってほしいと思っています。

維持会員・賛助会員としての
ご協力に感謝申し上げます。
2026 年 9 月末日現在・敬称略

【維持会員】

神原 琴風
島村 知歩
中野 敬一
藤井 辰男

【賛助会員】

細山 勝道

【法人・団体賛助会員】

大和信用金庫 西大寺支店

賛助会員のご案内は
こちらをご覧ください。▶



奈良 YMCA 前会長
北林 秀彦さん
2026 年 4 月 22 日ご逝去

奈良 YMCA 常議員
公益財団法人奈良 YMCA 監事
水田 典男さん
2025 年 12 月 7 日ご逝去

生前のお働きに感謝しますとともに
心より哀悼の意を表します。

第 15 回奈良 YMCA インターナショナルチャリティーラン



10 月 18 日 (日) 平城宮跡にて第 15 回奈良 YMCA
インターナショナルチャリティーランを開催いたし
ます。現在、ランナー・ボランティアなど募集して
います。詳細は QR コードからご覧ください。
みなさまのご応募お待ちしております！！



2026 年 熊本地震 救援・復興支援募金

2026 年 7 月 28 日 16 時 27 分に発生しました熊本県の地
震につきまして、被災されましたみなさまには、心よりお
見舞い申し上げます。

避難生活を余儀なくされている方々もまだ多くおられま
す。全国 YMCA では募金を開始しております。ご支援いた
だきました皆さまもございます被災救援、復興支援活動
のため用いさせていただきます。

詳細は QR コードからご覧ください。
引き続き多くの皆さまのご理解とご
支援をよろしくお願い致します。



奈良 YMCA の活動情報など是非ご覧ください！



公益財団法人 HP



社会福祉法人 HP



各プログラム
Facebook 一覧



公益財団法人
Instagram



社会福祉法人
Instagram

奈良 YMCA の使命

奈良 YMCA につどう私たちは、日本 YMCA 基本原則の精神に基づき、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざを実践し、青少年の精神・知性・身体の
調和のとれた全人的成長を願うとともに、平和で民主的な社会の実現をめざします。

私たちは、

1. 人々が互いに尊重し、協力しあって、ともに生きる社会の実現につとめます。
2. すべての人々が生涯にわたる学びをととして、自己の成長をはかれるよう、学習の場と機会を提供します。
3. ボランティア精神を育てる場とネットワークを創り出し、地域と国際社会に貢献します。
4. すべての生命をいつくしむことの大切さを認識し、人と自然が共生できる地球環境を守ります。
5. 世界の人々との交流をはかり、難民や発展途上国の困難さや痛みを分かち合い、地域と公正社会の実現に努力します。
6. アジアにおける日本の歴史的課題を学びつつ、世界平和実現のために祈り、行動します。

2026 年度 基本聖句

「何事も愛をもって行いなさい」
(コリントの信徒への手紙一 16 章 14 節)